

会 議 記 録 （概 要）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和６年度第２回高松市総合都市交通計画推進協議会
開催日時	令和６年１０月２４日（木）１３時３０分～１４時
開催場所	高松市役所１３階 大会議室
議題	議事 （１） バタクスの社会実装及び区域拡大について （２） その他 追加資料説明 ネットワークバス維持費補助制度の改正等の検討状況について
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	—
出席委員	土井会長、紀伊副会長、新居委員（代理：上野）、藤本委員、斎藤委員、木村委員、川崎委員、九十九委員、土井委員、上枝委員、多田委員、片庭委員（代理：谷岡）、菊池委員、十川委員（代理：小野）、仲西委員、板東委員、大西委員、形部委員 オブザーバー：谷藤課長、奥村課長 （欠席者：古川康造委員、古川和毅委員、石川委員、佐野委員４名）
傍聴者	１人（傍聴席：１０席を確保）、報道５人
担当課及び連絡先	交通政策課 ０８７-８３９-２１３８

審議経過及び審議結果
開会 （事務局） 本日は、オンラインと会場を併用し開催した。委員の半数以上が出席しているため、当協議会設置条例第６条第２項の規定により、会議は成立している。 １ 議事 次の議事について協議し、下記の結果となった。 （１） バタクスの社会実装及び区域拡大について ・・・事務局から説明（資料１） 以後審議

(会 長)

ただいまの議事について、高松タクシー協会として意見はあるか。

(委 員)

タクシー協会としては、まず資料1の4ページの路線予約定期運行のとおり、利用者数は減少傾向であり、それに伴い、空車便数の割合が6割強に達しており、非常に非効率な状況である。やはりここは、需要の見極めとしての別の運行手段というのでも検討していくべきだと我々業界も考えている。

一方で、5ページ目の区域運行も、決して利用者数が多いとは言えないが、事前予約された需要に対して十分に配車ができている。かつ、事業者においても、隙間時間で対応可能であることから、この区域運行に関しては継続していけると考えている。

また、区域運行は、公共交通の手薄なエリアへの、水平展開が十分可能であると考えている。水平展開される場合は、我々事業者もしっかり協力して、地域の足を守っていきたい。

(会長)

水平展開と言われていたが、機能すると非常に魅力的なサービスが提供できるので、事業継続のため、皆さんのご協力を賜りたい。

(追加資料) ネットワークバス維持費補助制度の改正等の検討状況について

・・・事務局から説明 (追加資料)

(会長)

この資料につきましてバス協会として、ご意見はあるか。

(委員)

本協議会においても、議題となっていたが、運転手不足、2024年問題への、御理解御支援を賜り、本年4月にバス路線の再編を実施して、その際、欠員数を減らすことはできたが、今年度に入って運転手の数が、まだマイナス1名であり、就職者が退職者を上回るような状況にはなっていない。しかしながら、今年度から初任給の底上げ、シフトの見直し、休日を増やすなど、待遇面で改善を図っている。

また一方で、採用の取組みとして、運転手の募集における運転体験会や県外への就職説明会などを取り入れ、運転手の確保に積極的に取り組んでいる。

こうした取組みを継続的に行い、利用者様へ、しっかりとサービスが提供できるように、引き続き取り組んで参りたい。

(会長)

補足をすると、こういったネットワークバスという考え方は、高松では当たり前のようだが、他の自治体ではこのような取り組みはない。中心市街地でのまちなかループバスが非常に利用されてるという実証や、伏石駅を拠点として、バスと鉄道の乗り継ぎを促す施策が整っていることなど、階層的なネットワークで、バス路線を再編することができたという、一つの成功例だと思う。全国的には大変素晴らしいので、皆様からもますますご支援をいただきたいと思います。

(3) その他 事務局からの連絡事項

次回協議会は、2月の開催を予定している。なお、具体の日程については、改めて調整させていただきたい。

閉会

以 上